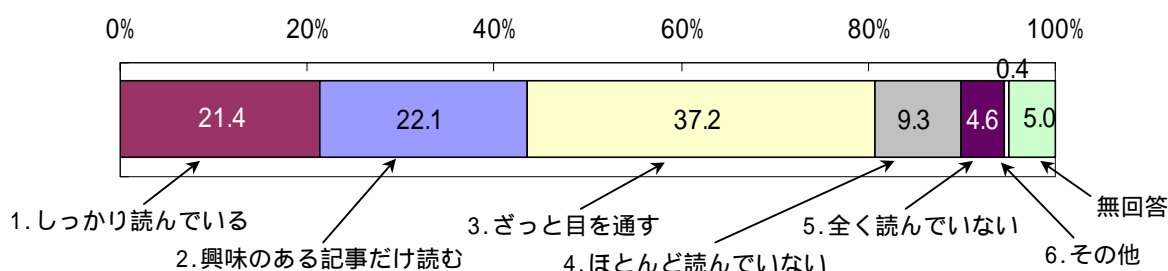


3 広報・広聴について

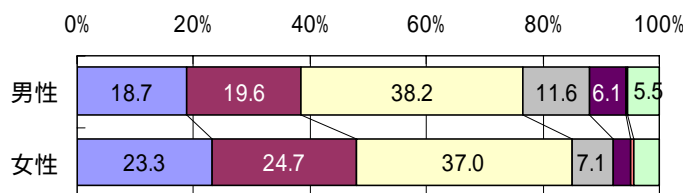
問 16 市では毎月1日と15日に『広報すその』を発行していますが、その広報紙をどの程度読んでいますか？
対象数 = 1,252



「3. ざっと目を通す」が最も高く 37.2%、次いで「2. 興味のある記事だけ読む」22.1%、「1. しっかり読んでいる」21.4%となっており、程度の差はあるものの8割以上の方が「読んでいる」と回答しています。一方、「4. ほとんど読んでいない」「5. 全く読んでいない」は 13.9%となっています。

【性別】

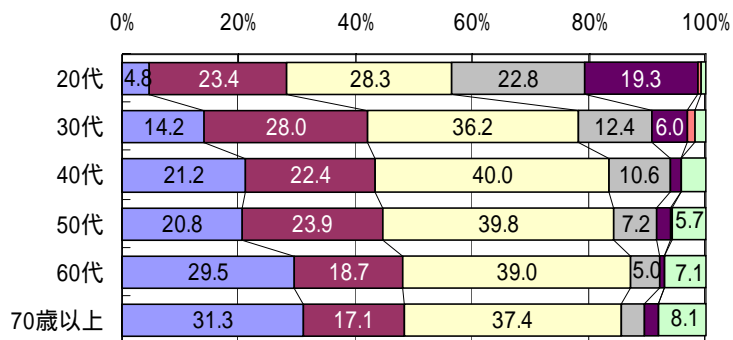
男性より女性の方が、「1.」「2.」「3.」をあわせた「読んでいる」が高く、85%となっています。



【年代別】

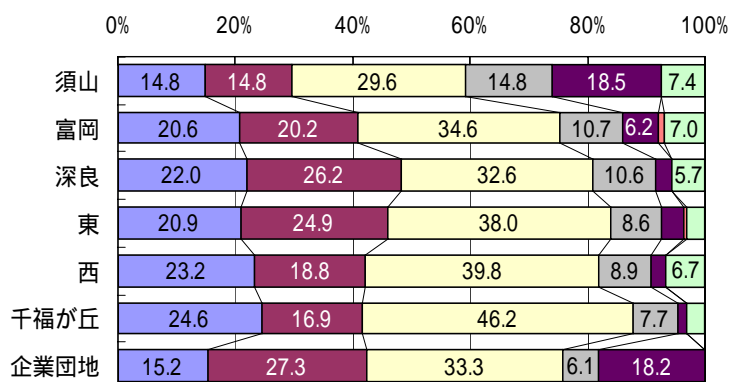
年齢が高くなるにつれて、「読んでいる」が高く、60代、70歳以上では「1. しっかり読んでいる」が30%前後に及んでいます。

一方、20代では、「4. ほとんど読んでいない」「5. 全く読んでいない」が42%以上と非常に高くなっています。



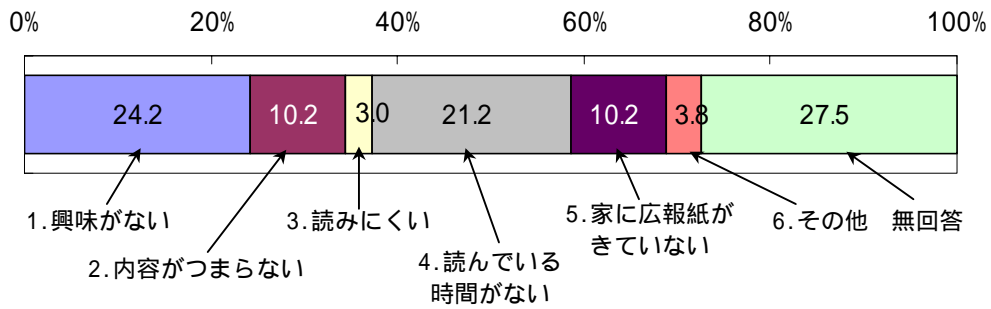
【地区別】

須山地区、企業団地で、「4. ほとんど読んでいない」「5. 全く読んでいない」が高い傾向にあります。



問 17 問 16で「ほとんど読んでいない」「全く読んでいない」を選んだ方、読んでいない理由は何ですか？

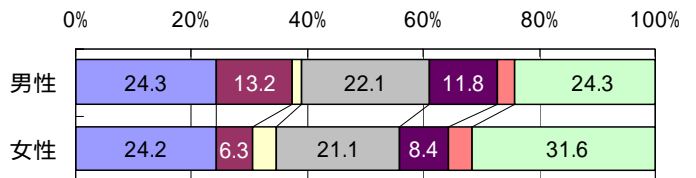
対象数 = 236



「1.興味がない」が最も高く24.2%、次いで「4.読んでいる時間がない」21.2%となっています。「2.内容がつまらない」、「5.家に広報紙がきていない」の理由をあげた人も、それぞれ10.2%となっています。

【性別】

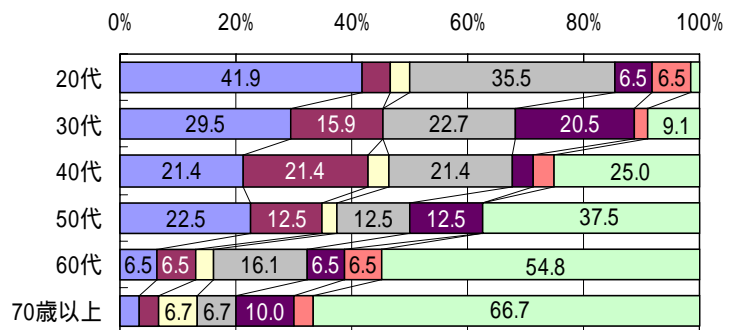
男性では、「2.内容がつまらない」が13.2%と高く、女性6.3%の2倍近くの比率となっています。



【年代別】

若年層ほど、「1.興味がない」が高く、特に20代では41.9%と高くなっています。

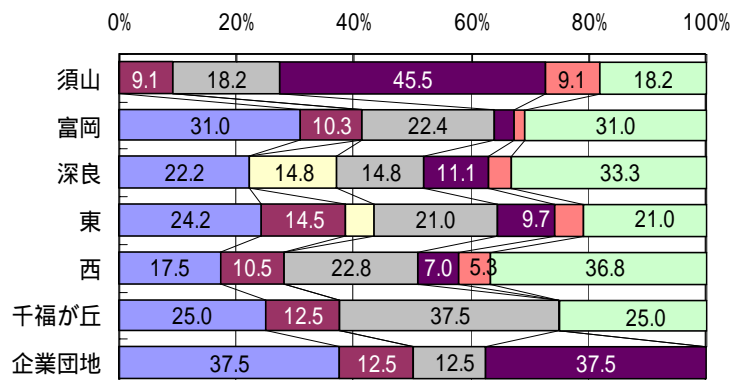
また、「4.読んでいる時間がない」も若年層で多くみられます。

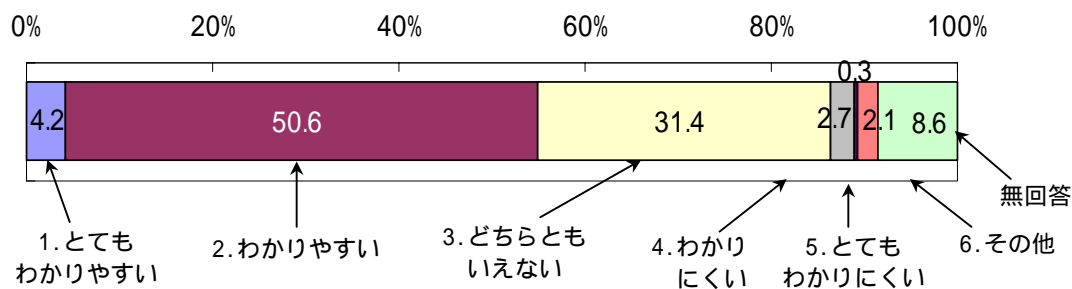


【地区別】

須山地区、企業団地では、「5.家に広報紙がきていない」が高い傾向にあります。

また、千福が丘では「4.読んでいる時間がない」が高い傾向にあります。



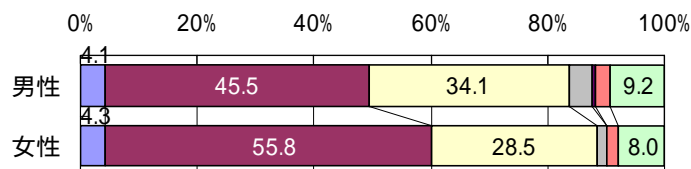


『広報すその』に対し、半数以上の方が「1. とてもわかりやすい」「2. わかりやすい」としています。

一方、「3. どちらともいえない」も 31.4%あり、判断が難しい面もみられます。

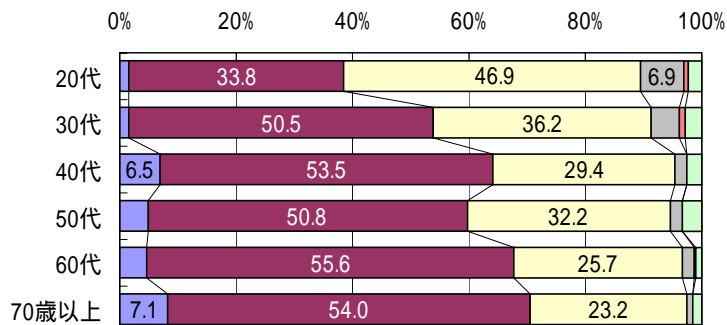
【性別】

男性より女性の方が「1. とてもわかりやすい」「2. わかりやすい」が高く、6割を超えています。



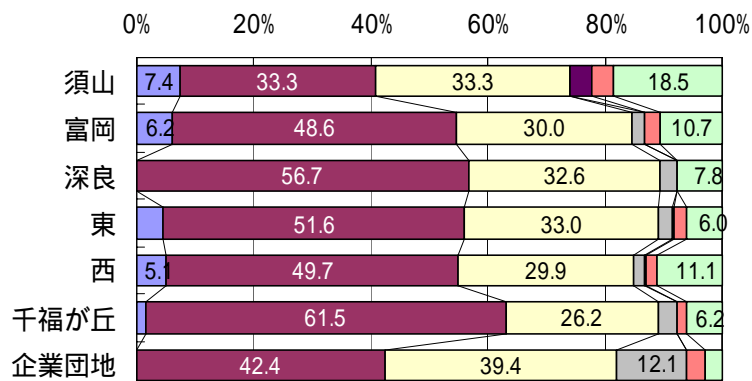
【年代別】

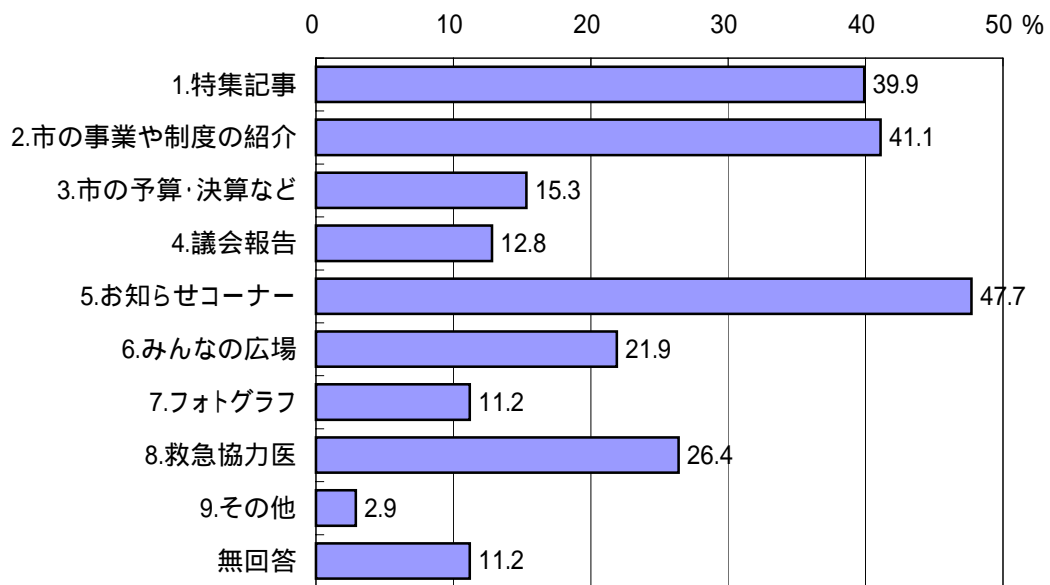
20代では、他年代に比べ「3. どちらともいえない」が 46.9%と高くなっていますが、広報紙を読んでいない人が多いため、判断ができなかったと考えられます。



【地区別】

千福が丘では「1. とてもわかりやすい」「2. わかりやすい」が高く、須山地区、企業団地では、低い傾向にあります。

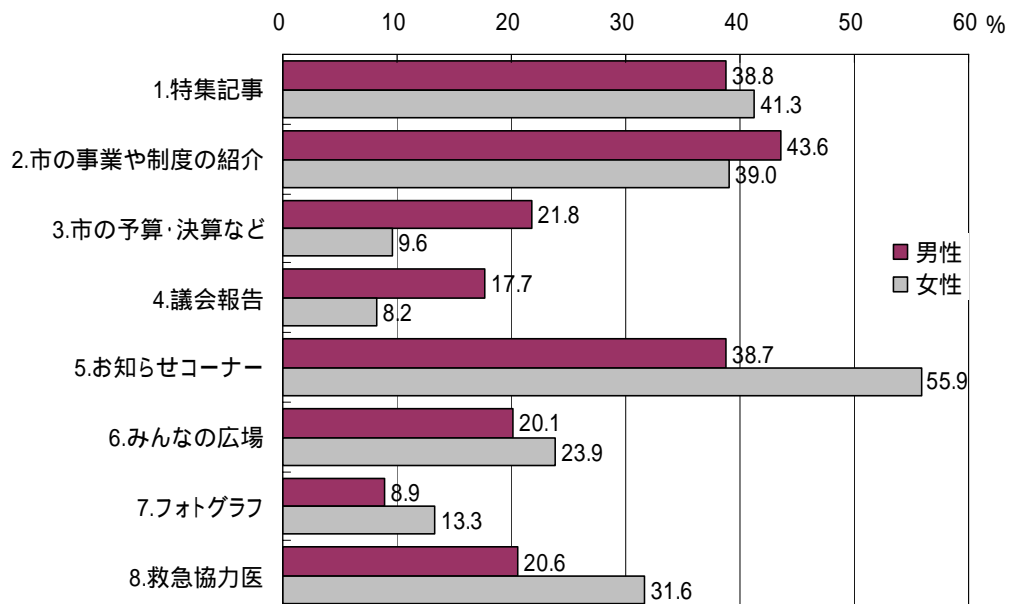




「5.お知らせコーナー」が最も高く 47.7%、次いで「2.市の事業や制度の紹介」41.1%、「1.特集記事」39.9%と続いています。

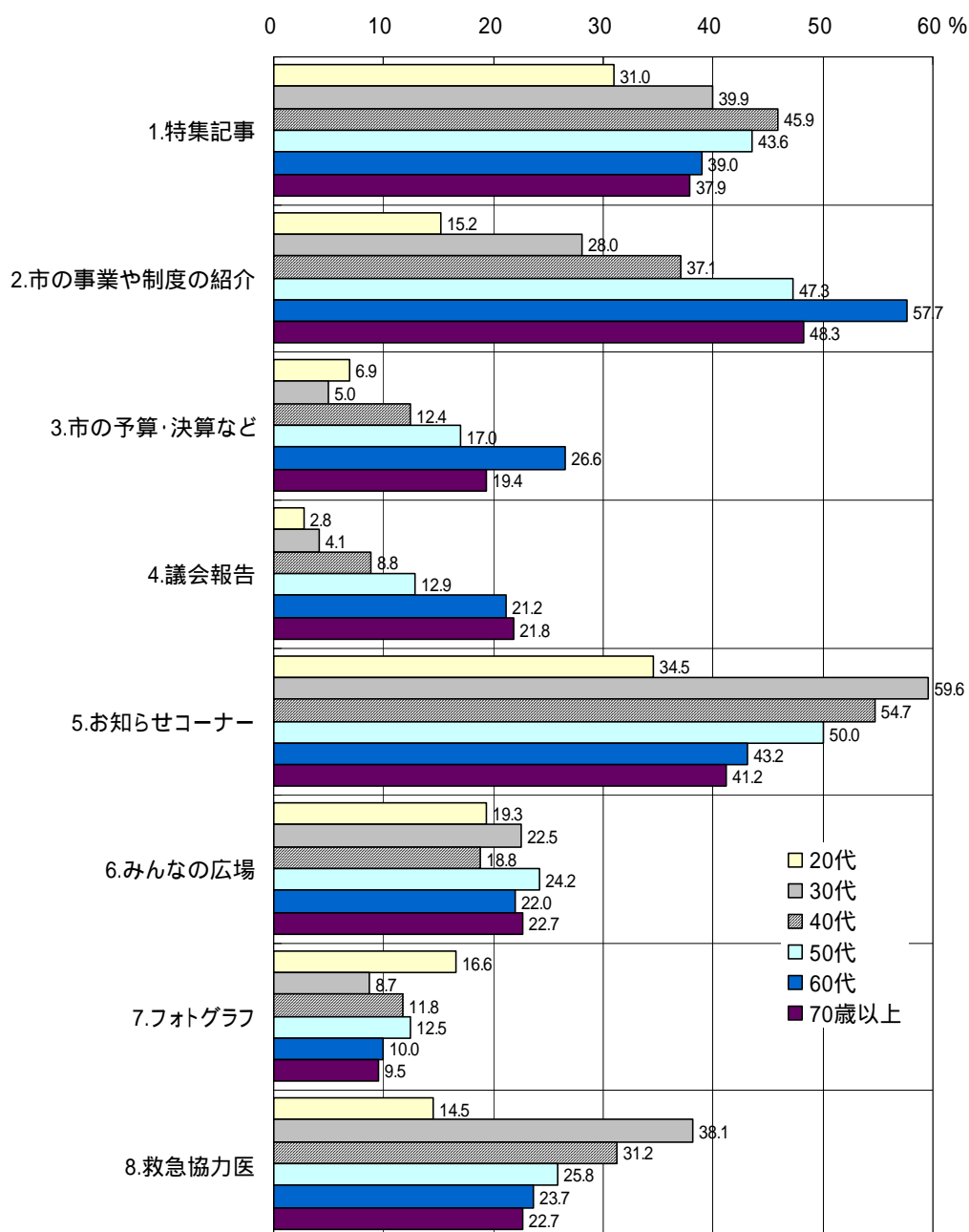
比率の低いものでは、「7.フォトグラフ」11.2%、「4.議会報告」12.8%、「3.市の予算・決算など」15.3%があげられます。

【性別】



性別による差が大きいものとしては、「3.市の予算・決算など」男性 21.8% > 女性 9.6%、「4.議会報告」男性 17.7% > 女性 8.2%、「5.お知らせコーナー」男性 38.7% < 女性 55.9%、「8.救急協力医」男性 20.6% < 女性 31.6%があげられます。

【年代別】

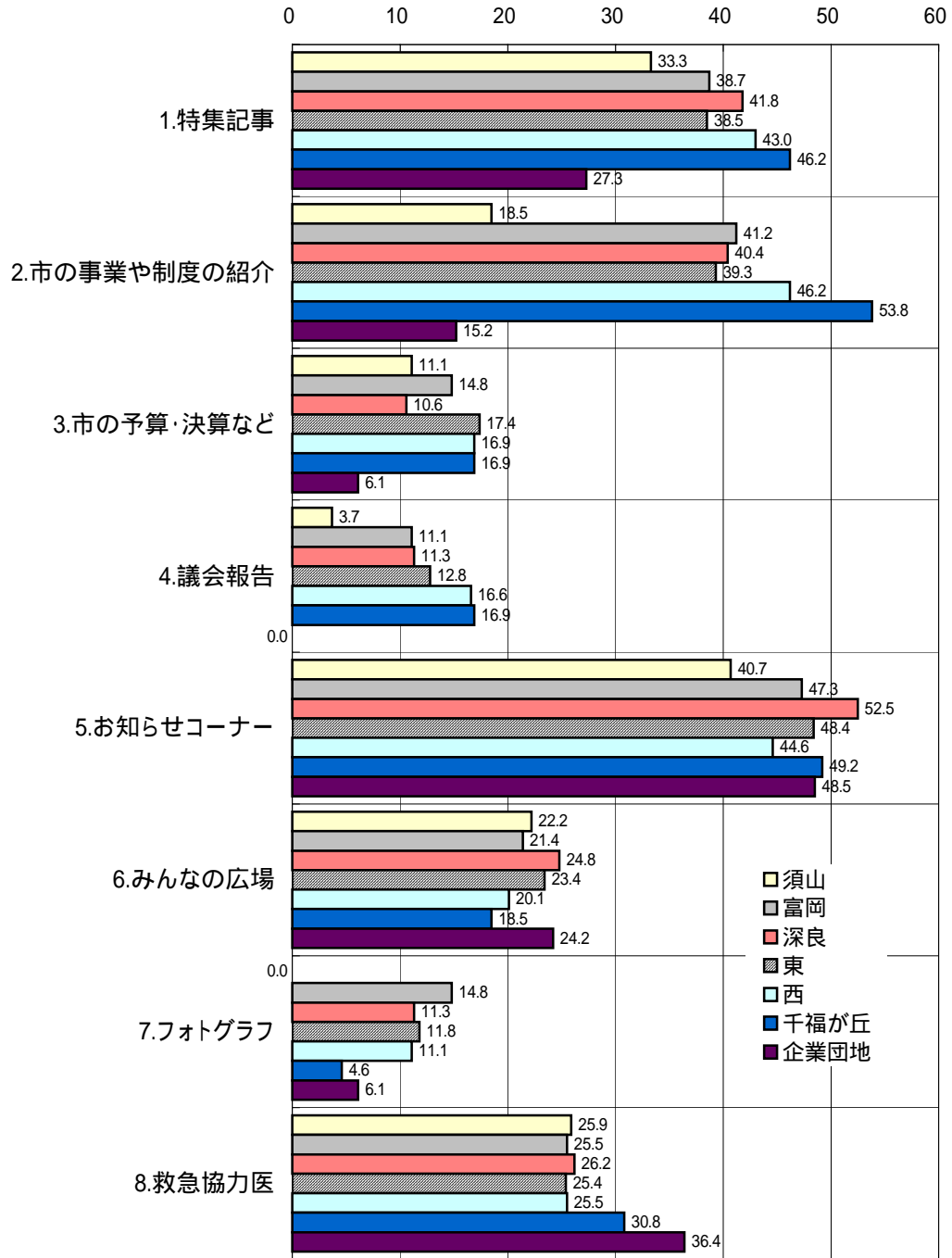


「2.市の事業や制度の紹介」「3.市の予算・決算など」「4.議会報告」は、高齢層ほどよく読む傾向にあり、「2.市の事業や制度の紹介」は60代で57.7%となっています。

全体で最もよく読まれている「5.お知らせコーナー」は、20代を除く全ての年代で40%を超えており、30代では59.6%となっています。

「8.救急協力医」は、子育て世代である30代が最も高く38.1%、40代も31.2%と高くなっています。

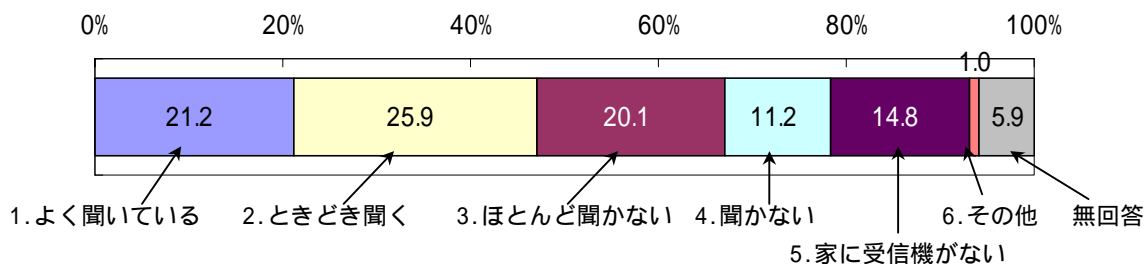
【地区別】



須山地区、企業団地では、『広報すその』があまり読まれていない傾向（問 16）となっていますが、記事内容については、他地区に比べて、特に「2.市の事業や制度の紹介」が低い比率となっています。

問 20 市では毎日無線放送を行っています、その広報無線をどの程度聞いていますか？

対象数 = 1,252

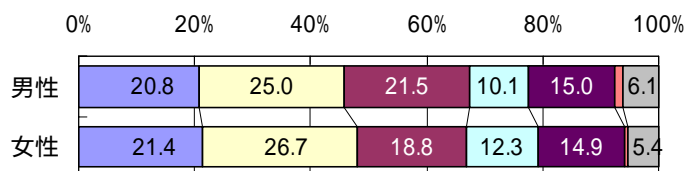


「2. ときどき聞く」が最も高く 25.9%、次いで「1. よく聞いている」21.2%となっており、半数近い人が聞いていると回答しています。

一方、「3. ほとんど聞かない」20.1%、「4. 聞かない」11.2%、「5. 家に受信機がない」14.8%であり、聞いていない人も4割以上となっています。

【性別】

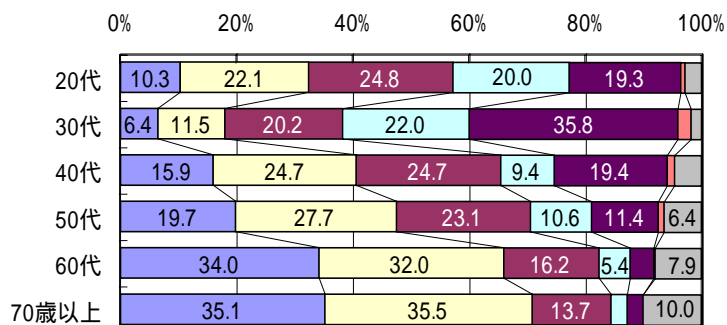
性別による差は特にみられませんが、「1.」「2.」をあわせた「聞いている」比率は、女性の方が若干高くなっています。



【年代別】

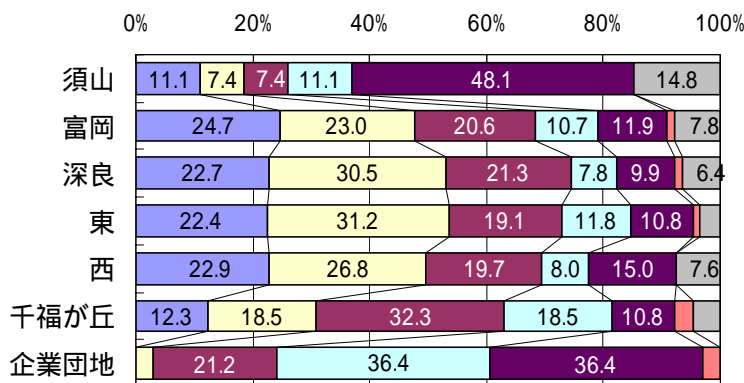
年齢が高くなるにつれて、「聞いている」比率は高くなる傾向にあり、70歳以上では7割を超えています。

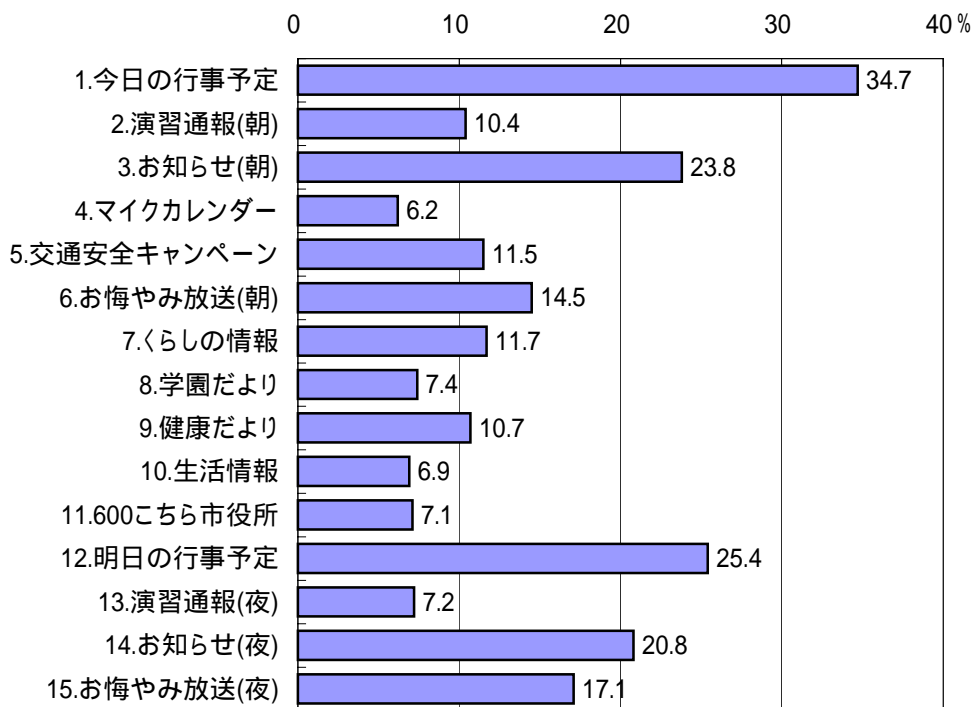
一方、30代では、「5. 家に受信機がない」と回答した人が35.8%と、他年代に比べ非常に高くなっています。



【地区別】

須山地区と企業団地で、「5. 家に受信機がない」が高い傾向にあり、特に須山地区では 48.1%と半数近くに及んでいます。

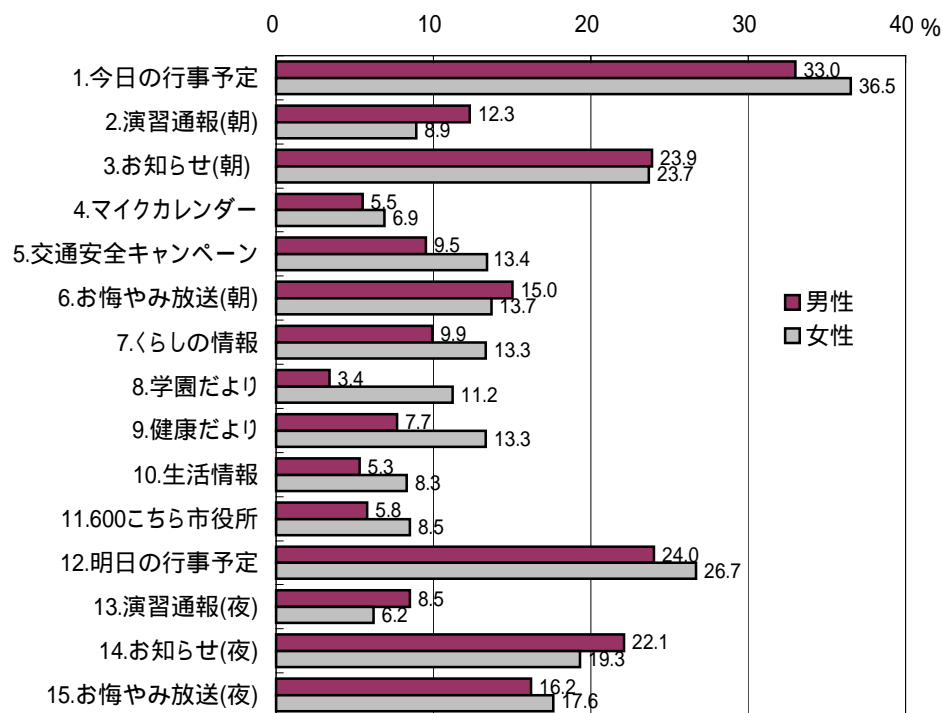




「1.今日の行事予定」が最も高く 34.7%、次いで「12.明日の行事予定」25.4%、「3.お知らせ(朝)」23.8%と続いています。

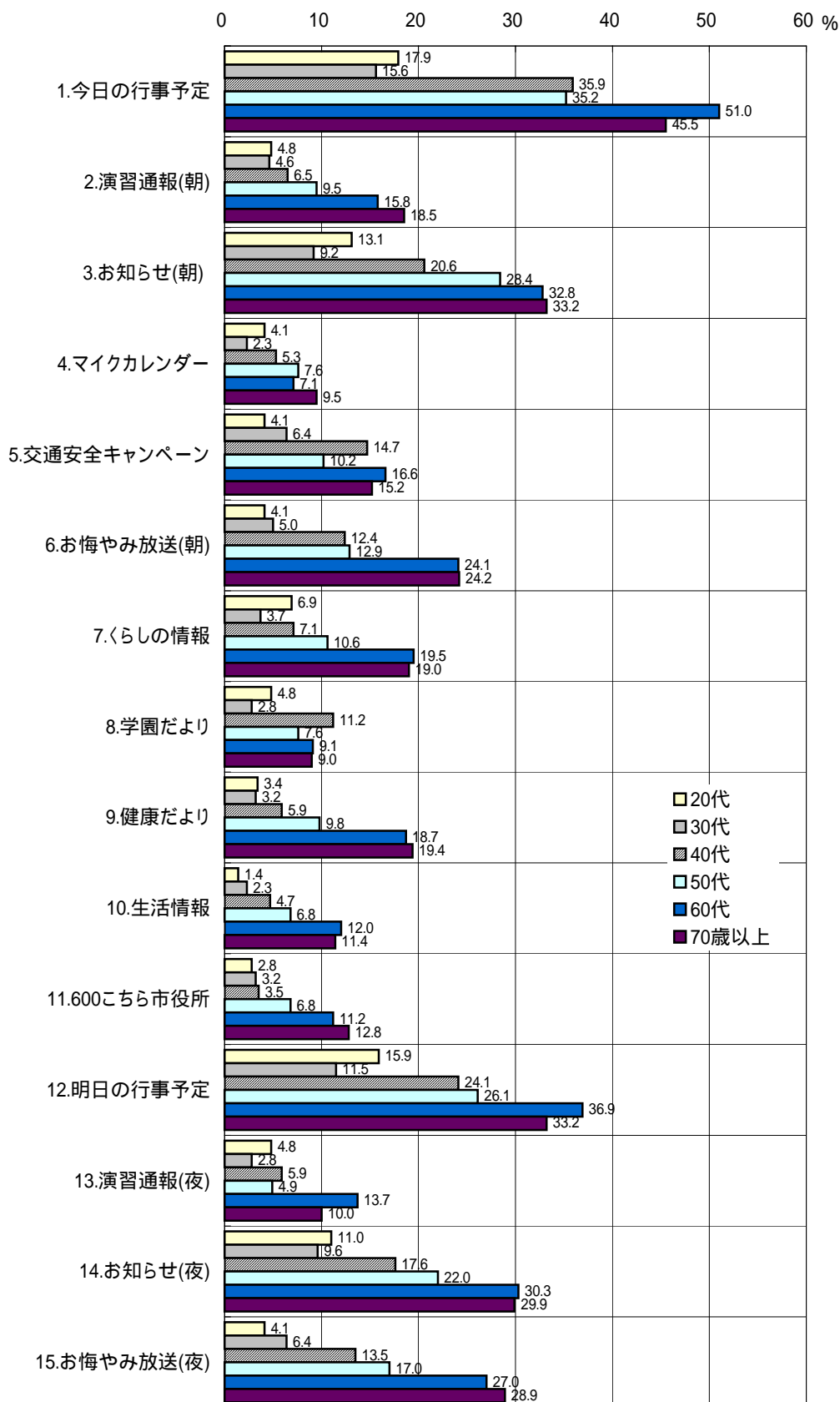
(比率の低いものでは、「4.マイクカレンダー」6.2%、「10.生活情報」6.9%、「11.600こちら市役所」7.1%、「13.演習通報(夜)」7.2%、「8.学園だより」7.4%があげられます。

【性別】



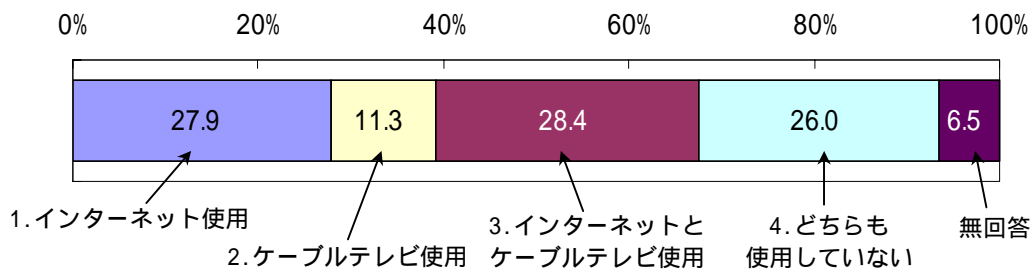
性別による差が大きいものとしては、「8.学園だより」男性 3.4% < 女性 11.2%、「9.健康だより」男性 7.7% < 女性 13.3%、があげられます。

【年代別】



「8.学園だより」以外の放送については、高齢層ほどよく聞いている傾向にあります。

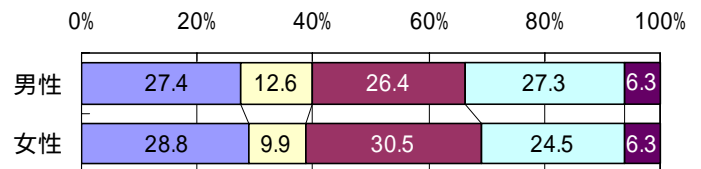
問 22 あなたのご家庭では、インターネットやケーブルテレビを使用していますか？ 対象数 = 1,252



「3. インターネットとケーブルテレビ使用」28.4%、「1. インターネット使用」27.9%、「2. ケーブルテレビ使用」11.3%となっており、6割以上の家庭で、インターネットやケーブルテレビが使用されています。

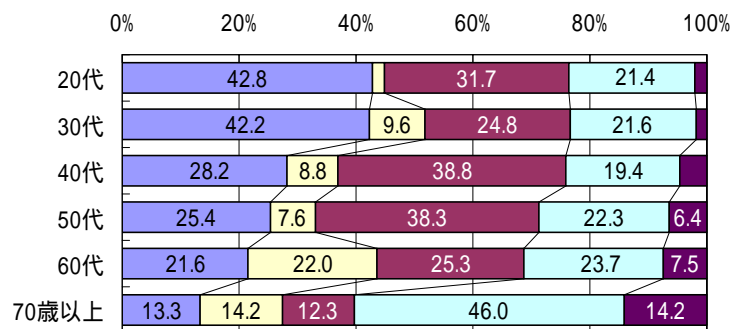
【性別】

性別による差は特にみられませんが、「4. どちらも使用していない」は、男性の方が若干高くなっています。



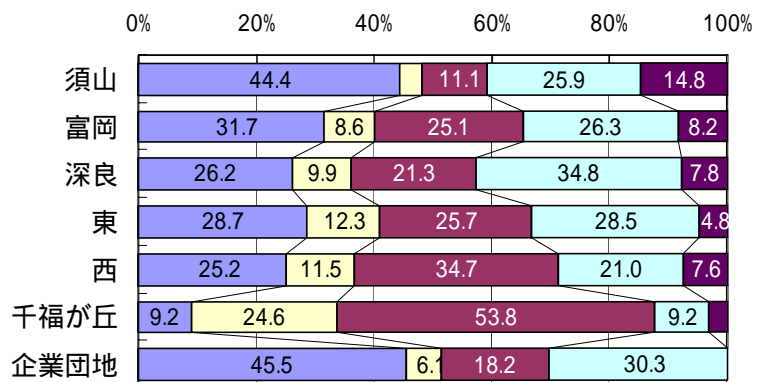
【年代別】

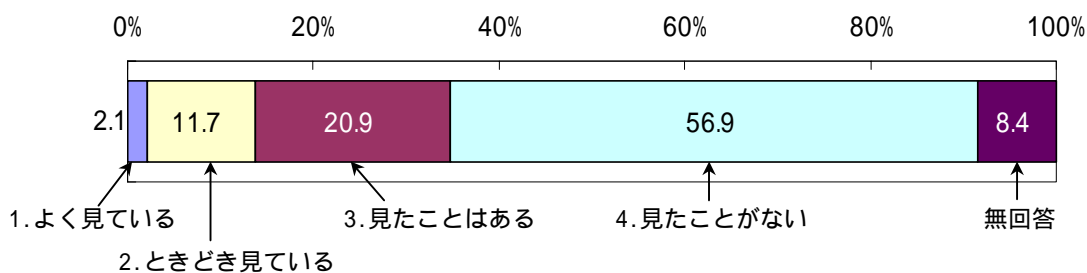
70歳以上では、「4. どちらも使用していない」46.0%と、他年代に比べ、非常に高くなっています。



【地区別】

千福が丘では、「1.」「2.」「3.」をあわせ8割以上であり、他地区に比べインターネットやケーブルテレビを使用している家庭が多い傾向にあります。

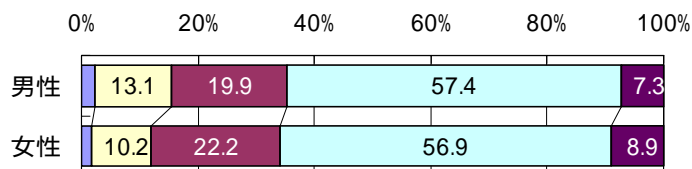




約6割が「4.見たことがない」と回答しており、「1.よく見ている」「2.ときどき見ている」「3.見たことはある」をあわせても34.7%にとどまっています。

【性別】

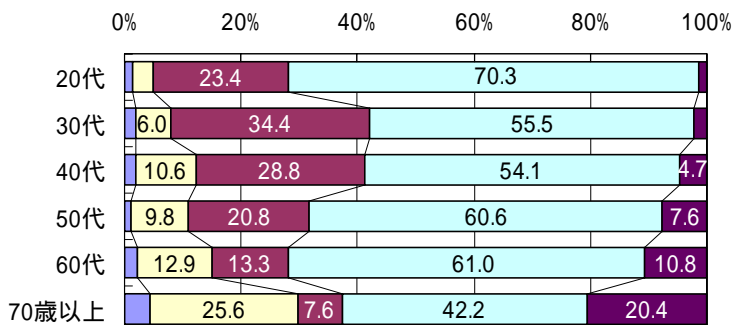
性別による差は特にみられません。



【年代別】

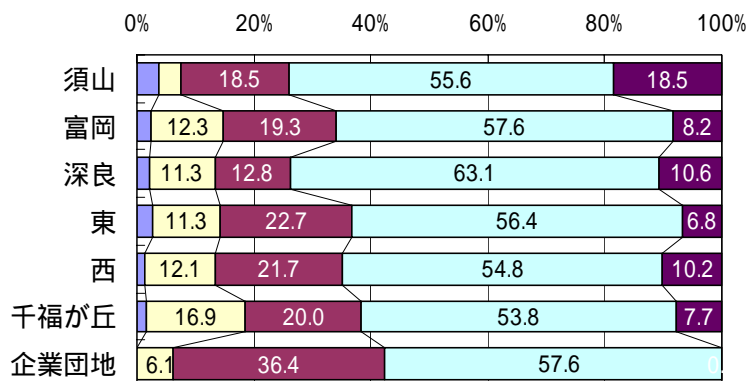
インターネットの使用が最も高い20代(問22)では、「4.見たことがない」70.3%と、他年代に比べ、非常に高くなっています。

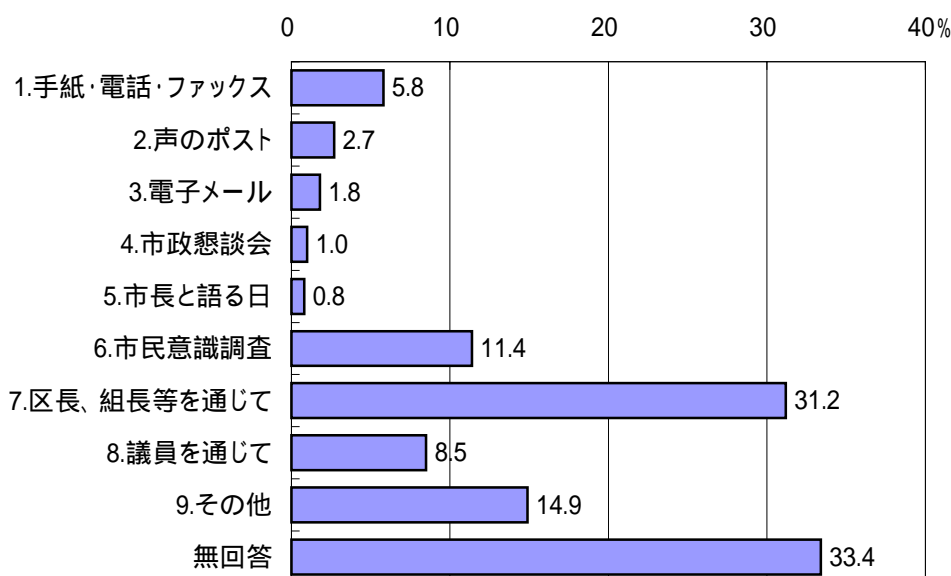
一方、インターネットの使用が低い70歳以上で、「2.ときどき見ている」25.6%と高くなっています。



【地区別】

深良地区で「4.見たことがない」が高い傾向にあります。

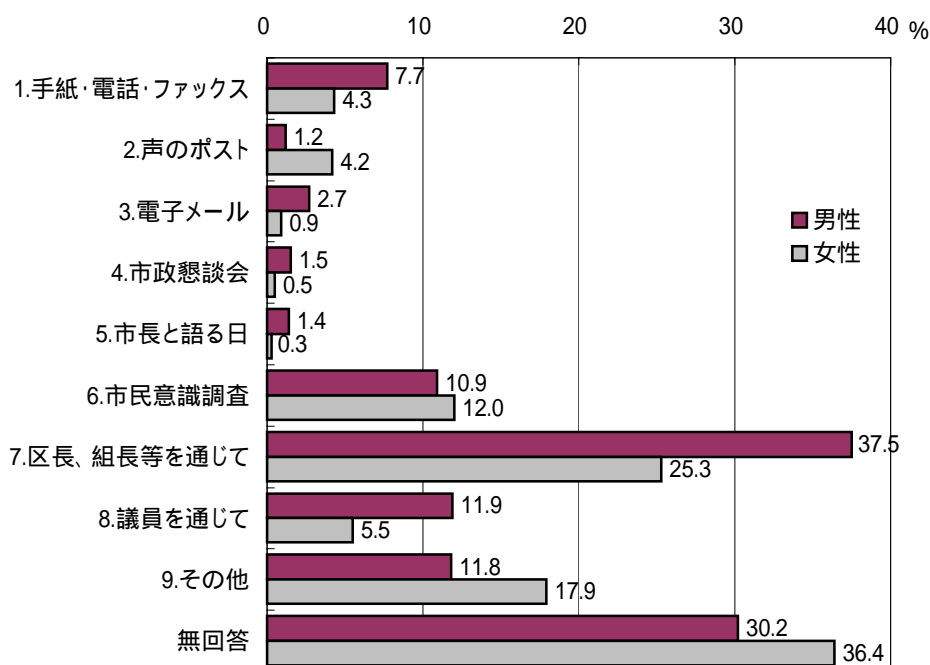




「7.区長、組長等を通じて」が最も高く 31.2%、次いで「6.市民意識調査」11.4%、「8.議員を通じて」8.5%となっています。

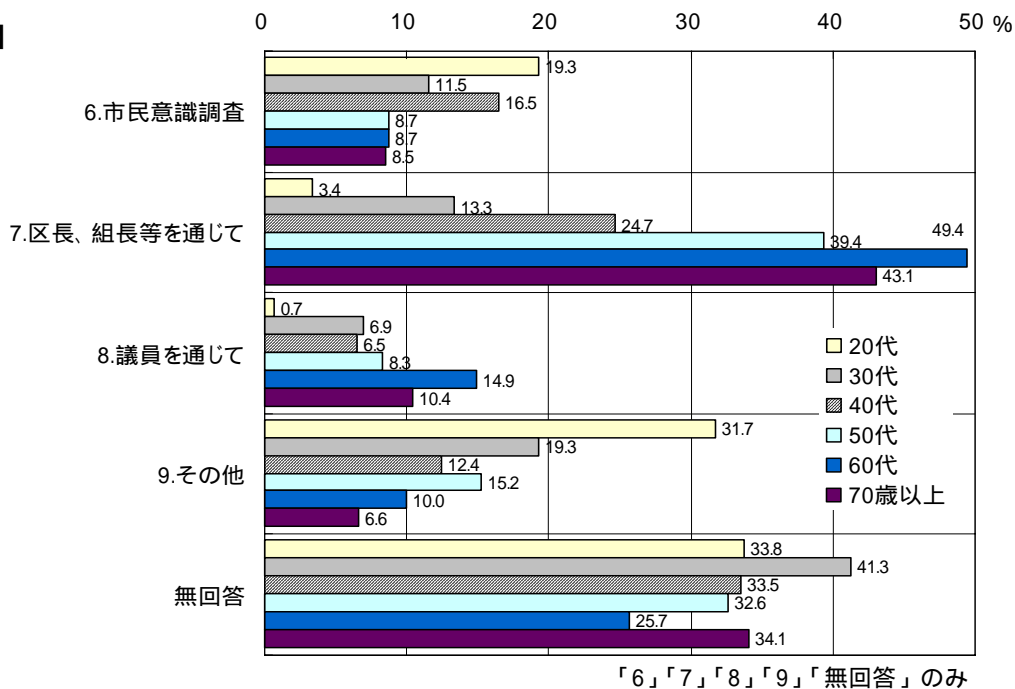
また、「9.その他」14.9%の具体的な意見として、「伝えていない」が大半を占めていることから、特に伝えようとしていない人が多いことがうかがえます。

【性別】



性別による差が大きいものとしては、「7.区長、組長等を通じて」男性 37.5% > 女性 25.3%、「8.議員を通じて」男性 11.9% > 女性 5.5%、「2.声のポスト」男性 1.2% < 女性 4.2%があげられます。

【年代別】



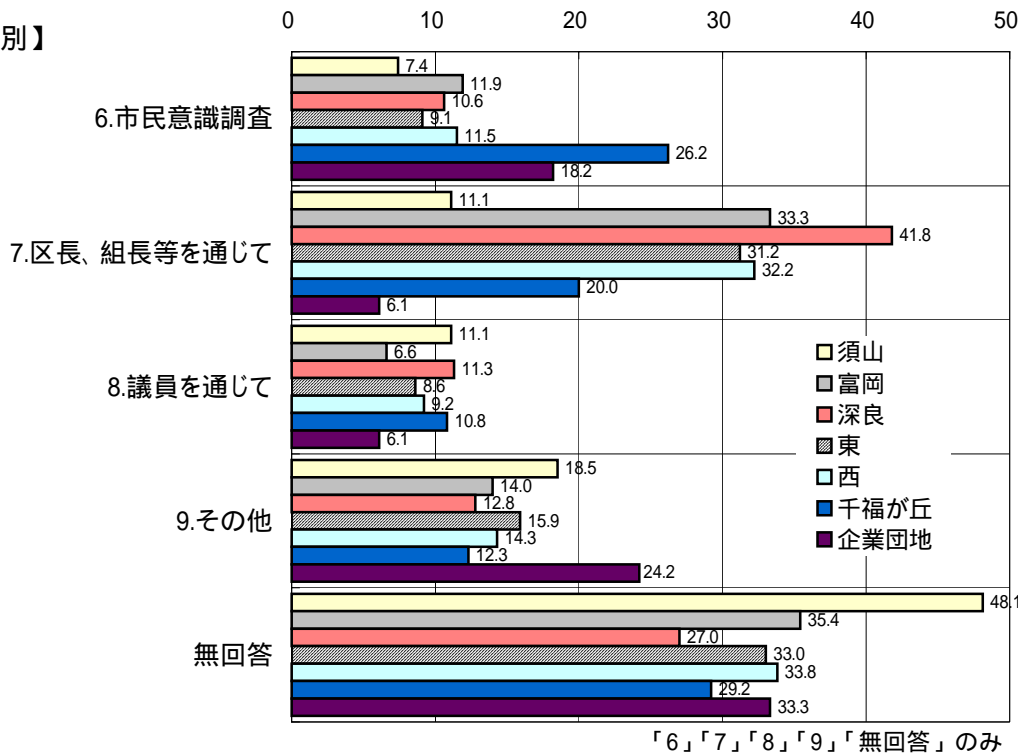
「6」「7」「8」「9」「無回答」のみ

年代別による差が大きいものとしては、「7.区長、組長等を通じて」が顕著であり、20代で3.4%に対し、60代では49.4%となっています。

「6.市民意識調査」では20代19.3%、40代16.5%と高くなっています。

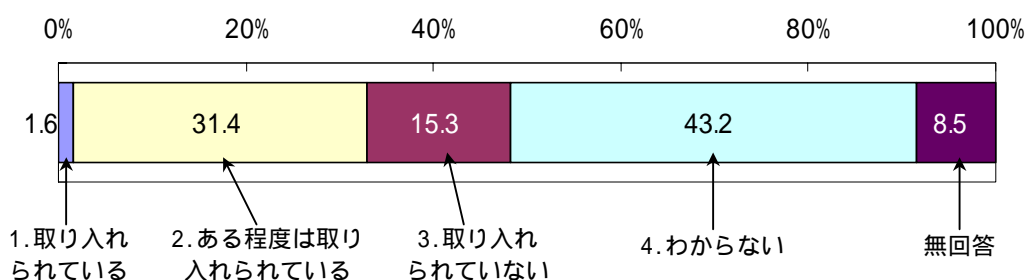
「9.その他」伝えていないと回答した人は、若年層ほど多く、20代で31.7%と高くなっています。

【地区別】



「6」「7」「8」「9」「無回答」のみ

須山地区、企業団地では「7.区長、組長等を通じて」が低い傾向にあり、深良地区では高い傾向にあります。また、千福が丘、企業団地では「6.市民意識調査」が高い傾向にあります。

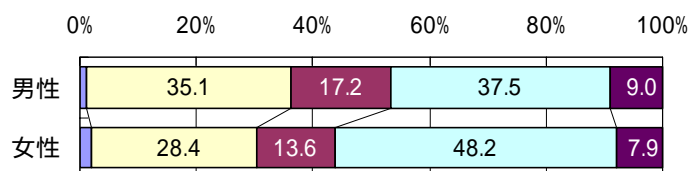


「1. 取り入れられている」1.6%、「2. ある程度は取り入れられている」31.4%であり、取り入れられていると感じている人は3割強となっています。

一方、「4. わからない」が43.2%で最も多く、判断の難しい一面もみられます。

【性別】

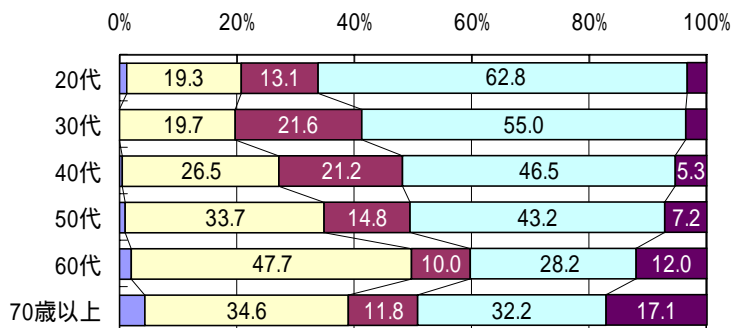
「2. ある程度は取り入れられている」「3. 取り入れられていない」も男性の方が高く、半数以上の方が明確に判断しています。



【年代別】

若年層ほど「4. わからない」が高い傾向にあり、20代では、62.8%となっています。

一方、60代では、ほぼ半数の人が「取り入れられている」と回答しています。



【地区別】

須山地区、企業団地では、他地区に比べ「4. わからない」が高い傾向となっています。

